

(問) Aさんは、昨年の夏休みに計算問題を毎日8問ずつ解くことにしました。3問ずつしか解けない日か何日かありましたが、40日間で280問題を解きました。8問解いた日数と3問解いた日数をそれぞれ求めなさい。

8問解いた日数をx日、3問解いた日数をy日とする。

整理してみる

- (日数) 8問解いたx日間と、3問解いたy日間、あわせて40日間、... ①  
(問題数) 8問をx日間解いた + 3問をy日間解いた、= 合計280問 ... ②

↓ 連立方程式にする

$$\begin{cases} x + y = 40 & \dots ① \\ 8x + 3y = 280 & \dots ② \end{cases} \quad \leftarrow \text{①} \times 3 \text{ } y \text{ を } 3 \times \text{しよう}$$

$$\begin{array}{r} 3x + 3y = 120 \\ - \quad 8x + 3y = 280 \\ \hline -5x = -160 \\ \boxed{x = 32} \quad \text{8問解いた日数} \end{array}$$

①の式のxに32を代入してyを求める

$$\begin{array}{r} x + y = 40 \\ 32 + y = 40 \\ y = 40 - 32 \\ \boxed{y = 8} \quad \text{3問解いた日数。} \end{array}$$

答、8問解いた日数 32 日、3問解いた日数 8 日。